

らぶらすブックサロン

もっと著者や韓国フェミニズムの背景について知りたい

社会へのモヤモヤや不安を言葉にして、共有したい

差別的な発言をする人と対話しようと試みたが、疲れた…



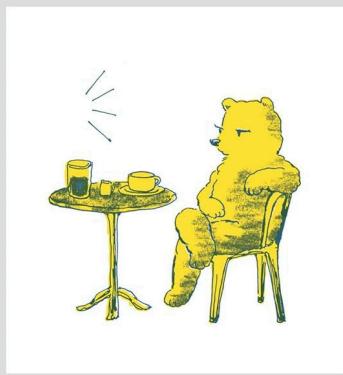
課題図書

私たちにはことばが必要だ
フェミニストは黙らない

Reclaim the Language How to deal with a sexist
우리에겐 언어가 필요하다 입이 트이는 페미니즘

イ・ミンギヨン 著 すんみ・小山内園子 訳

ソウル・江南駅女性刺殺事件をきっかけに、女性たちが立ち上がり、今盛り上がる韓国フェミニズムムーブメント



いまから学んでも遅くはない。
一日でも早く、あなたと、新しいことばで、話がしたい。

イ・ラン(ミュージシャン、映像作家)

あなたには、自分を守る義務がある。自分を守ることは、
口を開き、声を上げることからはじまる



2026年
1月25日(日)

14時～16時

らぶらすブックサロンは、本の感想を誰かと共有したい方や、ジェンダーの視点で本を読むことに関心のある方のための講座です。

今回は、講師に翻訳者のすんみさん、小山内園子さんをお迎えし、イ・ミンギヨン著『私たちにはことばが必要だ フェミニストは黙らない』を取り上げます！



講師

すんみさん



翻訳家・ライター。早稲田大学大学院文学研究科修了。訳書にキム・グミ『あまりにも真昼の恋愛』(晶文社)、チョン・セラン『屋上で会いましょう』(亞紀書房)、共訳書にリュ・ジョンフン他『北朝鮮おどろきの大転換』(河出書房新社)、イ・ミンギヨン『私たちにはことばが必要だ フェミニストは黙らない』『失われた賃金を求めて』(タバブックス)、チョ・ナムジュ『彼女の名前は』(筑摩書房)などがある。

おさない そのこ 小山内園子さん

韓日翻訳者、社会福祉士。NHK報道局ディレクターを経て、延世大学校などで韓国語を学ぶ。訳書にク・ビョンモ『破果』『破碎』(岩波書店)、カン・ファギル『別の人』(エトセトラブックス)、『大丈夫な人』『大仏ホテルの幽霊』(白水社)、共訳書にイ・ミンギヨン『私たちにはことばが必要だ』『失われた賃金を求めて』(タバブックス)、チョ・ナムジュ『私たちが記したもの』(筑摩書房)など、著書に『〈弱さ〉から読み解く韓国現代文学』(NHK出版)がある。

お申込み



会場 世田谷区立男女共同参画センターらぶらす

対象 どなたでも(参加無料)

定員 10人(要予約・先着順) **保育** あり(5か月～就学前、要予約・先着順)

申込 2025年12月15日(月)午前10時から、電話、FAX、またはらぶらすホームページの申込フォームで受付。※FAXの場合は①講座名②氏名③電話番号④保育の有無(保育を希望の場合は住所、子どもの名前・年齢)を明記。

お申し込みいただく住所・氏名・電話番号等の個人情報は、参加名簿の作成、キャンセル待ち登録名簿の作成、および必要な場合の連絡以外の目的に使用しません。

世田谷区立男女共同参画センターらぶらす
開館時間 9:00～22:00
休館日 毎月第3月曜日(祝日の場合は、その翌日)及び年末年始
〒154-0004
世田谷区太子堂1-12-40 グレート王寿ビル3～5階
電話 03-6450-8510 FAX 03-6450-8511
らぶらすHP <https://laplace-setagaya.net/>

